

熊本地震 被災者の立場に立って、支援の継続と拡充を！

日本共産党熊本地区委員会と党市議団で、市長へ「熊本地震の復興支援に関する申し入れ」を行いました

5月19・20日、日本共産党市議団は、党国会議員団・県議とともに、発災3年を迎えた被災者の現況調査を実施しました。それをもとに、6月12日、党地区委員会と市議団で市長へ、「被災者に寄り添った支援の継続と拡充を求める申し入れ」を行いました。（副市長が対応しました）

【要望の10項目】

- 1、今の時点で、プレハブ・みなし仮設から転居した人も含め、すべての被災者の生活実態について調査を行い、状況を報告すること。
- 2、プレハブ仮設・みなし仮設の入居について、被災者の実情に応じ延長を認め、追い出しをしないこと。プレハブ仮設の集約をしないこと。
- 3、災害公営住宅入居者に対する家賃補助を行うこと。仮設から民間賃貸住宅へ転居した被災者については、公営家賃との差額を補助すること。
- 4、仮設住宅から恒久的な住いへと転居した人の見守りを継続的に行う。
- 5、自宅の再建を行う中で、さまざまな困難を抱える世帯については、速やかな再建ができるよう丁寧に対応すること。
- 6、生活保護世帯への義援金支給は、上乘せ分についても収入認定せずに生活再建のために使えるよう、適切にアドバイスと対応を行うこと。
- 7、プレハブ・みなし仮設退去後も被災者への継続的な見守り支援を行う。
- 8、なかなか見えにくくなっている在宅被災者の状況についても、今の時点で状況を確認し、必要な支援を行うこと。
- 9、新設の災害公営住宅ではコミュニティ形成に様々な苦勞があるので、新しい生活の中で直面する様々な問題に対応できる体制を整えること。
- 10、未だ3,300世帯以上がプレハブ・みなし仮設に居住する状況にあるので、打ち切られた被災者への医療費減免制度を速やかに復活すること。

困難を抱えている人への丁寧な対応が必要

建築の条件が整わず、自宅再建に至らない人、再建の条件が整わずにみなし仮設延長が認められない人、仮設住宅の聞き取りでは追い出しや集約への不安が語られています。未だ、自宅の再建に至らない方々には様々な困難があるので、より丁寧な支援・対応が必要です。



要望書を受け取った多野副市長は、「被災者一人一人に寄り添った支援に努めていく」と語りました。

【控室から】 市役所前での朝宣伝

上野 みえこ



日本共産党市議団は、市役所前での毎週1回の朝宣伝を長年続けてきています。私が先輩議員の宣伝に加わったのが、およそ21年前で1000回くらい訴えてきたことになりました。

今週は、ボランティアの協力を得て、通行する人に、この度日本共産党から発行した「くらしに希望を3つのプラン」を特集した赤旗号外を配布しました。プラン①は、最低賃金時給1500円へ、「残業代ゼロ制度」廃止、正規雇用が当たり前のルールをという柱の「8時間働けば普通に暮らせる社会に」、プラン②は、大学・専門学校授業料は半額に、70万人に給付性奨学金、認可保育園30万人分の増設などの「お金の心配なく学び、子育てができる社会を」、プラン③は、国民健康保険料大幅引き下げ、減らない年金実現などの「くらしを支える安心の社会保障に」、これらを消費税に頼らない別の道で実現しようというものです。たくさんの方が受け取られ、大きなおにぎりの挿絵の黄色いチラシをながめながら通り過ぎて行かれました。

国の政治が問われる参議院選挙が来月へと迫っています。一部の大企業や富裕層ばかりが優遇される社会から、私たちが明日のくらしに希望が持てる社会へと切り替えていく、審判の時です。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1145

2019年6月23日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索



立野ダム建設はきっぱり中止を！

「九州北部豪雨7周年シンポジウム 再考・立野ダム建設」が開かれました

6月16日、「九州北部豪雨7周年シンポジウム」がひらかれ、白川上流に建設が予定されている立野ダムの危険性に関する講演会が行われました。

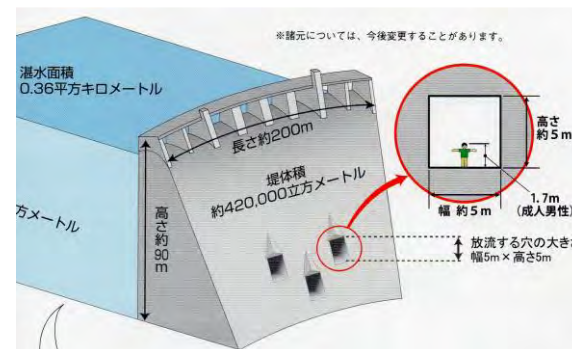
熊本県立大学名誉教授の中島熙八郎先生(京大論工博)は、

①穴の閉塞による危険性、②軟弱地盤による危険性、③水が枯渇する危険性の3つの角度から、立野ダムの問題点を指摘し、ダムに依存せず河川改修による治水対策の重要性について講演されました。

立野ダムの3つの危険とは？

① 穴の閉塞による危険

立野ダムには、5メートル四方の穴が3か所あります。講演では、この穴に秒速29メートルの勢いで水が吸い込まれ、流木などで穴が塞がる危険が指摘されました。



穴が塞がれば、わずか1時間程度でダムは満水となります。大規模な地滑りが起こればダム津波の危険があるほか、ダムより下流は、治水効果がまったく発揮できなません。

立野ダムの穴が流木でふさがったら

総貯水量1000万 m^3 ÷ 毎秒2300 m^3

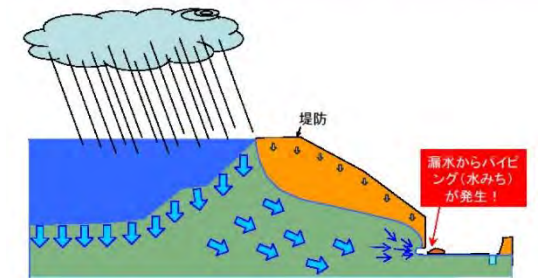
= 1時間13分で満水

② 軟弱な地盤が引き起こす崩壊の危険

砂質の地盤内の脆弱な部分に浸透水が集中すると、やがてパイプ状の水の通り道ができます。パイプの前後における水位差があり、動勾配が大きくなると土中の浸透性が高まり、水とともに流動化した土砂が地盤外へ一気に移動することもあります。崩壊の

ティートンダムをはじめ、大型の構造物や建築物などがパイピング現象を

浸透による破堤のメカニズム(パイピング破壊1)



きっかけとして崩壊に至ったケースもあり、危険性が指摘されました。

③ ダム下流の水が枯渇する危険

ダムの穴が詰まれば、立野地域に流れ込んだ水は、ダムでせき止められ、下流には長期にわたり水が供給されなくなります。白川から農業用水を取水している白川中流域、下流域の営農に大きな影響を与えることとなります。



白川かんがい用水群の詳細位置図

立野ダム=首縊(くく)りダム?ってどういうこと?

講師の中島先生は、立野ダムを「首縊(くく)りダム」と表現しました。右図のように、阿蘇外輪山内側に降った雨は立野溪谷に集中します。外輪山の切れ目である狭い箇所での流れを人工物で止めることは、様々な弊害を生む危険性があります。

